

平成30年度

京都府食育推進行動計画

実績報告



きょうと食育ネットワークマスコット
なす坊



京都府広報監
まゆまる

令和元年度

京都府

I 第3次京都府食育推進計画目標に関する
年度別目標数値及び達成状況

第3次京都府食育推進計画目標に関する年度別目標数値及び達成状況（H30実績 3月末の状況）

項目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
1	実践型食育を実施している小・中学校の割合	目標	—	65%	80%	95%		100%
		達成状況	57%	73%	92%	89.5%		
<p><目標設定の考え方>食育基本法において、重要とされている農業体験・調理などの実践型食育を強化し、とりわけ、子どもたちへの食育を重点化したいと考えています。（農林水産部食の安心・安全推進課）</p> <p><平成30年度の取組実績> きょうと食いく先生の派遣（農林漁業者・食品加工・調理）や農作業体験を支援する指導者の派遣を通じて実践型の食育授業の支援を行いました。</p>								

項目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
2	「お弁当の日」を実施する府内の学校の数	目標	—	22校	24校	26校		30校
		達成状況	20校	22校	20校	64校		
<p><目標設定の考え方>食育基本法において、重要とされている農業体験・調理などの実践型食育を強化し、とりわけ、子どもたちへの食育を重点化したいと考えています。（農林水産部食の安心・安全推進課）</p> <p><平成30年度の取組実績> 食育推進フォーラム（10月29日開催）等の教職員が参集する機会に「お弁当の日」のリーフレットを配付し、取組例を紹介しました。</p>								

項目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
3	学校給食への地元農林水産物の供給品目数の割合	目標	—	22%	22%	24%		30%
		達成状況	18%	16.4%	16.5%			
<p><目標設定の考え方>地産地消を推進し、栄養価の高い食事を確保するだけでなく、輸送エネルギーなどの発生抑制など環境にも配慮しつつ、全ての世代がその恩恵に浴することを促進したいと考えています。（農林水産部食の安心・安全推進課）</p> <p><平成30年度の取組実績> 「食に関する指導充実事業」「食育月間」「学校給食週間」等の取組により、地場産物を活用した地域の特色を生かした学校給食に取り組み、その内容を研修会での実践発表やホームページ等により他校や地域、家庭へ周知し、普及を行いました。</p>								

項目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
4	大学、企業、老人施設等の食堂で地元農林水産物を多く使用する「たんとおあがり京都府産施設」の増加	目標	—	157施設	166施設	177施設		200施設
		達成状況	145施設	154施設	152施設	169施設		
<p><目標設定の考え方>地産地消を推進し、栄養価の高い食事を確保するだけでなく、輸送エネルギーなどの発生抑制など環境にも配慮しつつ、全ての世代がその恩恵に浴することを促進したいと考えています。（農林水産部食の安心・安全推進課）</p> <p><平成30年度の取組実績> 地元農産物の利用に意欲的な病院・福祉施設、社員食堂、大学食堂を対象に認定章の交付を行い、意欲の向上を図りました。</p>								

項目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
5	食品表示法や機能性表示食品等に関する講習会の開催	目標	—	年5回	年5回	年5回		年5回
		達成状況	—	年5回	年6回	年7回		
<p><目標設定の考え方>食品表示等に関する知識等を取得することで府民の健康増進につなげたいと考えています。（農林水産部食の安心・安全推進課）</p> <p><平成30年度の取組実績> 令和2年度に完全施行される食品表示法や機能性表示食品等に関する正しい知識を提供するために、講習会等を開催しました。</p>								

項目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
6	「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」の増加	目標	—	550店舗	680店舗	550店舗		800店舗
		達成状況	567店舗 食情報提供店	753店舗 食情報提供店含む	766店舗 食情報提供店含む	794店舗 （食の健康づくり応援店のみ）		
<p><目標設定の考え方>①野菜たっぷりメニュー、②塩分控えめメニュー ③エネルギー表示、④アレルギー表示のいずれかを実施している「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」を増加させることで、府民の健康増進につなげたいと考えています。（健康福祉部健康対策課）〔第4次京都府食の安心・安全行動計画との共通目標〕※食情報提供店は平成29年度で終了</p> <p><平成30年度の取組実績> 引き続き、新規加入・新制度への移行を働きかけました。</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
7	食の安心・安全府民大学の開講	目標	—	年6回	年6回	年6回		年6回
		達成状況	—	年14回	年6回	年6回		
<p><目標設定の考え方>食の安心・安全に関すること、調理に関すること、食を選ぶことに関すること、京都の食文化に関することなど、食に関することを総合的に学べる機会を提供することで、家庭の食育推進など、複合的な効果を発揮したいと考えています。(農林水産部食の安心・安全推進課)〔第4次京都府食の安心・安全行動計画との共通目標〕</p> <p><平成30年度の取組実績>家庭で消費・賞味期限切れや食材の傷み等による食品ロスを出さないための冷蔵庫・食品棚の整理収納方法を分かりやすく解説した映像教材「冷蔵庫の整理収納」を6編作成し、京都府ホームページで公開しました。</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
8	朝食を毎日食べる府内小学生の割合(6年生)	目標	—	—	—	85.8%		95%
		達成状況	87%	86.2%	85.8%	83.7%		
	朝食を毎日食べる府内中学生の割合(3年生)	目標	—	—	—	81.3%		90%
		達成状況	82%	81.1%	81.3%	77.3%		
<p><目標設定の考え方>朝食は、極めて重要な働きをしており、とりわけ、子どもたちが朝食を欠食しないよう家庭に働きかけていきたいと考えています。(教育庁学校教育課)</p> <p><平成30年度の取組実績>あらゆる機会に朝食摂取の大切さについて、啓発を行いました。</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
9	食のみらい宣言(食育宣言)を行い、健全な食生活をおくる府民	目標	—	2,000人	4,000人	6,000人		10,000人
		達成状況	—	2,149人	4,228人	7,094人		
<p><目標設定の考え方>単独世帯の増加など、様々なライフスタイルがあり、家庭だけでなく、府民がつながり、個々の自発的な食育活動につながることを考えています。(農林水産部食の安心・安全推進課)〔第4次京都府食の安心・安全行動計画との共通目標〕</p> <p><平成30年度の取組実績>各種イベントで食のみらい宣言として、自らの食に関する目標をあげていただきました。</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
10	食事の宅配事業を実施する「京野菜ランド」の数	目標	—	1箇所	1箇所	1箇所		5箇所
		達成状況	—	1箇所	1箇所	2箇所		
<p><目標設定の考え方>今後の少子高齢化の進展を踏まえれば、自ら調理できない方の増加も見込まれ、地産地消を前提とした良質な食事を提供できる環境整備が必要と考えています。(農林水産部食の安心・安全推進課)</p> <p><平成30年度の取組実績>京野菜ランドマネージメント人材育成研修会で、宅配を行う直売所の事例を紹介しました。</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
11	京都における季節の行事食などの研修会の実施	目標	—	年4回	年4回	年4回		年4回
		達成状況	—	年7回	年4回	年4回		
<p><目標設定の考え方>和食のユネスコ無形文化遺産登録に代表される京都の食文化を積極的に後世に残していく必要があると考えています。(農林水産部食の安心・安全推進課)</p> <p><平成30年度の取組実績>引き続き、和食(出汁)、京菓子、京漬物など、京の食文化にかかる実践型の研修会を中心に実施しました。</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
12	「きょうと食いく先生」の授業数の増加	目標	—	160授業	220授業	280授業		300授業
		達成状況	108授業	202授業	267授業	329授業		
<p><目標設定の考え方>食に関するエキスパートである「きょうと食いく先生」が持つ、知識や経験を子どもたちや府民に広げることにより、京都の食文化の裾野を広げていきたいと考えています。(農林水産部食の安心・安全推進課)</p> <p><平成30年度の取組実績>教育庁と連携をとりながら、きょうと食いく先生の魅力を教職員へ伝えることにより、学校現場での活用を働きかけました。</p>								

項 目		年度	策定時 (H26)	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度
13	「健康ばんざい京のおばんざい弁当」の販売数	目標	—	年15,000個	年15,000個	年15,000個		年15,000個
		達成状況	年6,285個	年15,004個	年25,351個	年39,734個		
<p><目標設定の考え方>「栄養」や「京都らしさ」の一定の基準を満たした「健康ばんざい京のおばんざい弁当」を広めることで、京都の食文化の継承など、複合的な効果を発揮したいと考えています。(健康福祉部健康対策課)〔第4次京都府食の安心・安全行動計画との共通目標〕</p> <p><平成30年度の取組実績>引き続き、新規認定への働きかけ、学会弁当採用への営業、イベント会場での販売等、普及に働きかけました。</p>								

Ⅱ 取組一覧及び取組の展開

1 取組一覧

担当または窓口	取組事項名	ページ	評価	推進計画の施策								推進計画の目標 の項目番号								
				世代に応じた				健康増進	家庭	ライフスタイル	京都ならではの		食品ロス							
				子ども	若い世代	壮年期	高齢者													
農林水産部 食の安心・安全推進課	幼稚園・保育所の指導者向け研修会の開催	4	A	○																
	子ども用調理器具貸出事業の実施	4	B	○																
	子ども達の自発的な学びと実践につながる食育マンガの作成	4	A	○																
	府内の学校へ「お弁当の日」取組の働きかけ	5	A	○																2
	京都における季節の行事食などの研修会の実施	5	A											○						11
	きょうと食いく先生の養成講座と認定、派遣授業の実施	5	A	○	○					○				○						12
	食育シンポジウム等の開催	6	A	○	○	○	○			○	○	○								
	食育交流会の開催	6	A	○	○	○	○			○	○									
	食育団体が連携した食育活動の推進	7	A	○	○	○	○													
	「たんとおあがり京都府産」施設（京都府産農産物利用推進施設）の認定	7	A	○	○	○	○							○						4
	京野菜ランドによる宅配事業への支援	7	A				○				○									10
	食品表示法や機能性表示食品等に関する講習会の開催	8	A							○	○	○								5
	食の府民大学の講義の充実	8	A							○	○	○	○							7
	食の安心・安全意見交換会、フォーラムの開催	9	B							○	○	○								5
	リスクコミュニケーション等の開催	9	A							○	○	○								5
	食品ロス削減府民会議の開催	10	A																	○
	食品ロス削減のための啓発事業の実施	10	A																	○
	食育強化月間における関係団体と連携した啓発	11	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
	食のみらい宣言・実践活動表彰の実施	11	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							9
	イベント等での食育の啓発	12	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
きょうと食育ネットワーク団体による食育を支援する活動の登録と情報提供	12	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
京都府及び関係機関の「食」に関する情報の提供	12	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
きょうと食育ネットワーク団体による食育講座の情報発信	13	A	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
食育プラットフォーム参加者の拡大	13	B	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								
教育委員会	高等学校保健体育課 学校教育課	学校教育活動全体を通じた食育の推進	14	A	○															1
	高等学校保健体育課 教育課	調理実習等の充実	14	A	○															1
	保健体育課	地場産物を取り入れた学校給食の促進	15	A	○															3
		地域の人材を活用した体験学習等の実施による生活実践力の育成	15	A	○															1・12
	人事課	採用選考試験等の実施	15	A	○															1
	保健体育課	教職員研修の充実	16	A	○															1
学校給食を活用した食育の推進		16	A	○															1・3	
福祉部 健康課	対策課	「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」の増加	17	A			○		○										6	
		「健康ばんざい京のおばんざい弁当」の販売数	17	A					○										13	

担当または窓口	取組事項名	ページ	評価	推進計画の施策								推進計画の目標 の項目番号			
				世代に応じた				健康増進	家庭	ライフスタイル	京都ならではの		食品ロス		
				子ども	若い世代	壮年期	高齢者								
地乙京 域訓都	保健乙訓所	特定給食施設である事業所における食習慣の改善に向けた取組	17	A		○	○		○						
山城地域	保健山城北	働き盛り世代の生活習慣病予防を目的とした啓発	17	A		○	○		○						
		健康づくりイベントでの食育啓発活動	18	A	○	○	○	○	○	○					
	保健山城所南	家庭における食育推進をねらいとした啓発	18	A					○	○					
	農振工部局	山城マルシェの開催	18	A								○			
		「京やましろ食～京やましろ産食材提供店～」登録の拡大	19	B	○	○	○	○	○			○			
教育山城局	山城地方食育・学校給食研究協議会の開催	19	A	○											
南丹地域	農振工部局	「『京都丹波』イチ推しの食プロジェクト」2018	20	A							○			9	
		おいしい食の応援隊（農作業ボランティア）の開催	20	A					○	○				9	
		栽培から加工、調理まで行う食育（農業改良普及センター）	21	A	○									1・12	
	南丹保健所	大学等を会場とした食育キャンペーンの開催（保健室）	21	A	○				○					9	
		働きざかり世代への企業食堂を通じた健康づくり「けんこう食堂化プロジェクト」[保健室]	22	A			○		○					9	
		「なんたん・かんたん・やさしい料理」レシピカードを活用した野菜摂取量向上の取り組み（保健室）	22	A					○	○				9	
		きょうと健康長寿推進京都丹波地域府民会議食環境部会の開催（保健室）	23	A	○	○	○	○	○	○				9	
		南丹地域配食サービスリストの作成（保健室）	23	A				○	○					9	
地中域丹	教育中丹局	中丹地区食育・学校給食研究大会の開催	24	A	○								1		
丹後地域	農振工部局	小学校の食育活動に対する支援	24	B	○										
		きょうと食いく先生会議の開催	25	A	○	○				○					
	保健丹後所	食育フォーラムの開催	25	A	○	○									
		イベントでの食育体験コーナー等の設置	25	A	○	○	○	○	○						
		食育月間の取組	26	A					○						
農林水産部	農振課	子どもを対象とした農業体験の開催	26	A	○										
		高校生・大学生による農業関連実践活動	26	A		○									
	担経手課	農業体験活動の推進	27	A						○					
		食を楽しみながら学ぶ機会の提供	28	A						○					
	農林水産技術センター（流通戦略課）	京都発！「食とみどりのサイエンスNOW」の開催	29	A					○		○				
		農林水産技術センター施設公開の開催	29	A	○	○	○	○			○				
	農産課	女性農業者による食育活動と農山漁村伝承技能保持者による技術伝承活動	30	A	○					○	○				
		農山漁村伝承技能の登録・認定	30	A				○			○				
		京都米提供店の登録、紹介	31	A						○					
		茶育の推進	31	A	○									1	
		環境にやさしい農業に取り組むエコファーマーと消費者の交流会の開催	32	A						○					
	水産課	水産教室の開催	32	A	○									1	
都市漁村交流の促進		32	A	○	○	○	○								

担当または窓口	取組事項名	ページ	評価	推進計画の施策										推進計画の目標 の項目番号				
				世代に応じた				健康増進	家庭	ライフスタイル	京都ならではの	食品ロス						
				子ども	若い世代	壮年期	高齢者											
商工労働観光部 振興課	高齢者等への買い物支援	33	A					○										
	食品表示法・HACCP研修会の開催（実施団体：食品産業協会）	33	A						○									5
	農林水産フェスティバルへの出展（実施団体：食品産業協会）	34	A							○								
（府民環境部） 自然環境課	海と星の見える丘公園	郷土料理作り	35	A	○	○	○			○	○	○	○					
	おくどさん体験及び夕食づくり	35	A	○	○	○				○	○	○						
	石窯パン・ピザ作り	36	A	○	○	○				○		○						
	巨大パエリアづくり	36	A	○	○	○				○		○						
件数	74				43	28	25	21	29	27	19	24	2					

A：実施済み

B：未完了・未達成

2 取組の展開（H30実績 3月末の状況）

担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代（子ども）	目標
取組事項名	幼稚園・保育所の指導者向け研修会の開催		
取組の内容	幼児への味覚の発達・調理力向上等を目的に、食育指導者等を対象とした研修会を実施し、幼児に対する調理実習の推進を図っていきます。 目標：1回		
取組の実績 評価 A	平成31年2月に北部・南部で各1回開催 内容：幼児向け調理実習等を通じた効果的な食育支援について 実績：2回		

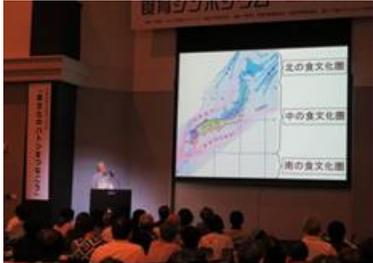
担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代（子ども）	目標
取組事項名	子ども用調理器具貸出事業の実施		
取組の内容	子どもを対象とした調理実習を推進するために、子ども用の調理器具の貸出事業を実施し、子どもたちが調理を学ぶ機会の提供を支援します。 目標：20施設		
取組の実績 評価 B	地元産野菜を使った調理体験やお餅つきなど子どもたちが食文化を学ぶための調理器具の貸出や講師派遣を行いました。 実績：17施設		

担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代（子ども）	目標
取組事項名	子ども達の自発的な学びと実践につながる食育マンガの作成		
取組の内容	食育を分かりやすく子ども達に伝え、また、子ども達が自発的に食育できるきっかけとなるよう、テーマごとの食育短編マンガを作成します。		
取組の実績 評価 A	子ども達が食に興味関心を持ち、自発的な学びと実践につながるよう、食育啓発短編マンガを作成し、ダウンロードして小学校、特に高学年向けの食育の教材として使えるよう、京都府のホームページに掲載しました。 実績：2編完成（食品ロス削減編、感謝編）		

取組事項名	府内の学校へ「お弁当の日」取組の働きかけ
取組の内容	子ども達が自分でつくる「お弁当の日」を府内の学校に広めるため、府内での実践状況や取組等について、情報を提供します。
取組の実績 評価A	<p>食育推進フォーラム（平成30年10月29日開催）において、教職員等に「お弁当の日」のリーフレットを配付し、取組例を紹介しました。</p> 

取組事項名	京都における季節の行事食などの研修会の実施
取組の内容	食の安心・安全府民大学やきょうと食いく先生の活動において、京都における季節の行事食などの研修会を実施します。
取組の実績 評価A	食いく先生により、季節の和菓子作りや郷土料理の調理体験授業を実施しました。

取組事項名	きょうと食いく先生の養成講座と認定、派遣授業の実施
取組の内容	<p>学校等において、専門的な知識を有し農作業や調理等を指導できる人材を育成するため、養成講座を開講し、きょうと食いく先生の認定を行います。</p> <p>また、小・中学校等へ社会人講師として出前授業を行う取組を進めます。</p> <p>目標：養成講座開催 1回 きょうと食いく先生の授業数 280回</p>
取組の実績 評価A	<p>今年度新たに27名を認定 実績：きょうと食いく先生の授業数 329回</p>

取組事項名	食育シンポジウム等の開催	
取組の内容	<p>きょうと食育ネットワーク、大阪ガス（株）と共同で「伝統的な料理と食文化の継承」をテーマにシンポジウムを開催し、学校、地域、家庭での食育推進を働きかけます。</p> <p>目標：1回</p>	
取組の実績 評価A	<p>平成30年8月4日（土）京都リサーチパークにおいて開催。約120人参加の中、奥村彪生氏の伝承料理に関する豊富な知識と経験に基づいた講演、丹後の料理人やフランスでの生活を経験したアナウンサーを迎えてのパネルディスカッションを実施しました。</p> <p>実績：1回</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>	

取組事項名	食育交流会の開催	
取組の内容	<p>「食べる」「生きる」という人間にとって当たり前で基本的な営みは、命を育てその命をいただくことで成り立っていますが、そのことに気づく機会は少ないのが現状です。そこで、「いただきます」の向こう側にある農畜産物等の生産や生き物の命をいただいていることを見つめ直す機会となるよう、食育交流会を開催します。</p> <p>目標：1回</p>	
取組の実績 評価A	<p>平成30年11月24日（土）京都パルスプラザ内で、カレーライス materials を自分たちの手で育て、作り、食べるというドキュメンタリー映画「カレーライスを一から作る」を上映し、参加者の皆さんから感想をいただきました。</p> <p>実績：1回</p>	

担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代（全世代）	目標
取組事項名	食育団体が連携した食育活動の推進		
取組の内容	<p>学校関係者や農林水産物の生産者、地域住民等、食育活動組織が連携して取り組む新たな実践型食育活動の取組について、経費の一部を助成し、府内の各地域ならではの食育活動を支援します。</p> <p>目標：地域の食育めばえ支援事業実施団体 12 団体</p>		
取組の実績 評価 A	<p>地域活性化組織による地域に伝わる食文化を学ぶ研修会、PTAによるおばんざい研修会、学校給食研究会による出汁等の研修会等を実施</p> <p>地域や学校関係者による主体的な食育の取組を支援しました。</p> <p>実績：地域の食育めばえ事業実施団体 15 団体</p>		

担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代（全世代）、京都ならではの	目標 4
取組事項名	「たんとおあがり京都府産」施設（京都府産農産物利用推進施設）の認定		
取組の内容	<p>地元農産物の利用に意欲的な病院・福祉施設、社員食堂を有する企業、大学、専門学校その他これらに準ずるものの構内に所在する食堂、幼稚園、保育所その他これらに準ずるものを対象に認定証の交付を行い、意欲の向上を図ります。</p> <p>目標：新規認定施設数 12 施設</p>		
取組の実績 評価 A	<p>実績：新規認定施設数 26 施設 （福祉施設 3、大学 1、企業 1、幼稚園・保育所等 21）</p>		

担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代（高齢者）、ライフスタイル	目標 10
取組事項名	京野菜ランドによる宅配事業への支援		
取組の内容	<p>直売所へ出向くのが難しい方のために、京野菜ランドが宅配事業を実施できるよう研修会を実施するなど支援します。</p> <p>目標：研修会の開催：1 回</p>		
取組の実績 評価 A	<p>京野菜ランドマネジメント人材育成研修会研修を平成30年9月6日（木）に開催した。</p> <p>実績：研修会の開催：1 回</p>		

取組事項名	食品表示法や機能性表示食品等に関する講習会の開催
取組の内容	令和2年度に完全施行される食品表示法や機能性表示食品等に関する正しい情報を提供するために、講習会等を開催します。 目標：5回
取組の実績 評価 A	改正された食品表示についての講習の実施や、ブース出展ではクイズ形式で食品表示の解説を行いました。特にブース出展では、普段食品表示に関心の薄い方々にも興味を持って取り組んでいただくことができ、広く周知することができました。 実績：講習会7回

取組事項名	食の府民大学の講義の充実
取組の内容	特に忙しい子育て世代に対して、食材を選ぶことや、調理方法の知識を簡単に入手できるように、Youtube を活用した『5分間の講義（映像 Wikipedia）』を提供します。 目標：10講座
取組の実績 評価 A	実績：14講座 〈講座内容〉 <ul style="list-style-type: none"> ・調理力講座 6講座 <ul style="list-style-type: none"> 冷蔵庫の整理収納 食品ロスを減らそう ○整理収納の基本・整理 ○保存場所の収納を考える ○納める 冷蔵室 ○納める 野菜室 ○納める 冷凍室 ○納める 食品棚 ・食選力講座 8講座 <ul style="list-style-type: none"> ○食品表示 8講座



取組事項名	食の安心・安全意見交換会、フォーラムの開催
取組の内容	食の安全に関する施策や取組について、消費者及び生産者等と各広域振興局ごとに意見交換を行うとともに、消費者及び生産事業者等と協働して食の安心・安全フォーラムを開催し、食品の安全性に関する知識を啓発します。 目標：5回
取組の実績 評価B	<p>◆食の安心・安全意見交換会の開催 4回 府内各地で、消費者と生産者との意見交換を開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「京都丹波産のお米の安心安全の取組について」 平成30年9月22日(土)他 京都新光悦村他 2,600名 ○「鹿肉の魅力について」 平成31年1月26日(土) 綾部市里山交流研修センター 24名 ○「きょうと信頼食品登録制度事業者等の安心・安全の取組について」 平成31年2月7日(木) 京都府庁福利厚生センター 74名 ○「山城産農産物の収穫体験や加工体験をとおしての食の安心安全について」 平成31年3月2日(土) JAやましろ会議室 14名

取組事項名	リスクコミュニケーション等の開催
取組の内容	食中毒、食品添加物、放射性物質等の食に関するリスクをテーマに、生産者、事業者、専門家などの関係者と意見交換を行い、理解を深めます。 目標：15回
取組の実績 評価A	<p>実績：15回 国との連携や、府民の要望に応じたリスクコミュニケーションを開催しました。フィッシュボウル形式による意見交換等開催方法を工夫しながら実施しました。</p> <p><例></p> <ul style="list-style-type: none"> ○「アクリルアミドの低減と米トレーサビリティ法」 18名 平成30年9月21日(金) 丹後広域振興局 ○「カフェインについて」 28名 平成30年10月19日(金) 京都府立大学 ○「子どもの食事とアレルギーについて」 平成31年2月20日(水) 20名 京田辺市立中央公民館



担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 食品ロス	目標
取組事項名	食品ロス削減府民会議の開催		
取組の内容	府民や食品関係事業者、行政等が一体となり、売れ残りや規格外品、食べ残しなどの理由から、食品が廃棄されてしまう「食品ロス」の削減に向けた具体的な方策を議論するため、京都府食品ロス削減府民会議を設置し、幅広く議論を実施します。 目標：1回		
取組の実績 評価 A	実績：1回 平成31年3月14日開催		

担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 食品ロス	目標
取組事項名	食品ロス削減のための啓発事業の実施		
取組の内容	<p>府民一人ひとりが食品ロスの問題について考え、削減のための主体的な行動につなげることを目的に、「食品ロス削減ポスターコンクール」や府民向け研修会等を開催します。</p> <p>【食品ロス削減のための取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○食品ロス削減ポスターコンクールの開催 ○府民向け研修会の開催 ○食べ残しゼロ推進店舗の認定 ○啓発資材の作成 ○イベント等での啓発 		
取組の実績 評価 A	<ul style="list-style-type: none"> ○食品ロス削減ポスターコンクールの開催 府内の中学・高校生を対象に、食品ロス削減の重要性やライフスタイルの見直し等を啓発するためのポスター作品を募集したところ、12校から178作品の応募があり、その中から京都府知事賞のほか優秀作品を表彰しました。 ○府民向け研修会の開催 平成30年10月28日（日）に「食品ロス削減セミナー」を開催し、ハッピー冷蔵庫アドバイザー・大野多恵子氏から、食品ロスを減らすために家庭ですぐに実践できる冷蔵庫の整理収納方法について講演いただきました。 ○食べ残しゼロ推進店舗の認定 食品ロス削減の取組を実践する飲食店、宿泊施設、食品小売店を「食べ残しゼロ推進店舗」として認定しました。 飲食店・宿泊施設 50店舗 食品小売店 39店舗 ○啓発資材の作成 食品ロス削減ポスターコンクール知事賞受賞作品を使った啓発ポスターを作成し、府内の公共施設や学校等に掲示を行いました。（平成31年3月） ○イベント等での啓発 農林水産フェスティバルや環境フェスティバル等の府民が多く集まるイベントでブース出展し、食品ロス削減について啓発しました。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <div style="text-align: center;">   </div> </div>		

担当または窓口	食の安心・安全推進課	施策	世代（全世代）、健康増進、家庭、ライフスタイル、京都ならではの	目標
取組事項名	食育強化月間における関係団体と連携した啓発			
取組の内容	<p>「きょうと食育ネットワーク」が「朝ごはんを食べよう」を統一テーマとして定めている「きょうと食育強化月間（11月）」において、府内各団体と連携した啓発活動を行います。</p> <p>目標：1回</p>			
取組の実績 評価A	<p>京都府農林水産フェスティバル2017（平成30年11月24日、25日）において、京都府食生活改善推進員連絡協議会と連携し、食育体験コーナーを設置し、食生活相談や食育に関する展示等を行いました。</p> <p>実績：1回</p>			

担当または窓口	食の安心・安全推進課	施策	世代（全世代）、健康増進、家庭、ライフスタイル、京都ならではの	目標	9
取組事項名	食のみらい宣言・実践活動表彰の実施				
取組の内容	<p>府民が主体的に食育活動に取り組むきっかけづくりとして、府民自らの食に関する目標（宣言）と、その結果（実践）及びその様子が分かる写真を「京都府食のみらい宣言・実践活動」として募集します。</p> <p>目標：食のみらい宣言を行い、健全な食生活をおくる府民 6,000名 (H28からの累計)</p>				
取組の実績 評価A		<p>府民の主体的な食育活動の取組を推進するため、自らの食に関する目標を宣言する「食のみらい宣言」とその実践活動結果を募集しました。応募総数423点の中から「京都府食のみらい宣言・実践活動表彰」入賞宣言を決定し、平成30年11月24日（土）に表彰式を開催しました。</p> <p>また、京都府主催のイベント等において、多くの府民に食のみらい宣言を実施していただきました。</p> <p>実績：平成30年度 2,866名（うちコンクール798名） 延人数（平成28年からの累計） 7,094名</p>			

担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代（全世代）、健康増進、家庭、ライフスタイル、 京都ならではの	目標
取組事項名	イベント等での食育の啓発		
取組の内容	<p>「きょうと食育ネットワーク」と連携しながら、食に関わるイベント等に効果的な出展を行い、府民が食育を考え、体験できる機会とします。</p> <p>○食育取組事例等の展示・配布</p> <p>○体験型ブース出展（食生活の見直しや、食に関わるマナー等の体験機会とします。）</p> <p>○アンケート実施（府民の食育に対する意識を把握します。）</p>		
取組の実績 評価A	<p>各種イベントに出展し、パネル展示、食生活チェックコーナー設置、資料配付、アンケート等を実施しました。</p> <p><出展イベント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・SKY ふれあいフェスティバル（平成30年9月15日） ・京都府農林水産フェスティバル（平成30年11月24日、25日） 		

担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代（全世代）、健康増進、家庭、ライフスタイル、 京都ならではの	目標
取組事項名	きょうと食育ネットワーク団体による食育を支援する活動の登録と情報提供		
取組の内容	<p>「きょうと食育ネットワーク」を通じて、府内で行われている食育支援の活動を登録し、ホームページ等で情報提供することで、食育に取り組むに当たって必要な情報を容易に取得できるようにします。</p> <p>【食育支援の取組】</p> <p>○ボランティア活動 ○企業・工房等の見学 ○講師の派遣 ○教材等の提供</p> <p>○農林漁業体験プログラム 等</p>		
取組の実績 評価B	<p>「きょうと食育ネットワーク」において、会員団体及び「きょうとの食育」サポート企業における食育支援の活動を登録し、ネットワークのホームページに掲載することで情報提供を実施しました。</p>		

担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代（全世代）、健康増進、家庭、ライフスタイル、 京都ならではの	目標
取組事項名	京都府及び関係機関の「食」に関する情報の提供		
取組の内容	<p>ホームページ・メールマガジン等で「食」に関する情報を提供します。</p> <p><きょうと食育・安心・安全メールマガジン></p> <p>http://www.pref.kyoto.jp/shokupro/merumaga.html</p>		
取組の実績 評価A	<p>「きょうと食育・安心・安全メールマガジン」を発行。2週間に一度、京都府の食育や食の安心・安全についての取り組みや関係機関の行事など様々な情報を発信しました。</p> <p>実績：24回</p> <p><きょうと食育・安心・安全メールマガジン></p> <p>http://www.pref.kyoto.jp/shokupro/merumaga.html</p>		

担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代（全世代）、健康増進、家庭、ライフスタイル、 京都ならではの	目標
取組事項名	きょうと食育ネットワーク団体による食育講座の情報発信		
取組の内容	「きょうと食育ネットワーク」による料理教室等の食育講座の開催を情報発信します。		
取組の実績 評価 A	「きょうと食育事例集」に、きょうと食育ネットワーク団体による食育講座の情報を掲載しました。		

担当または窓口 食の安心・安全推進課		施策 世代（全世代）、健康増進、家庭、ライフスタイル、 京都ならではの	目標
取組事項名	食育プラットフォーム参加者の拡大		
取組の内容	<p>食育が府民運動として取り組まれるための体制を整えるため、府内で食育に取り組む個人や団体が参加可能な食育プラットフォームの拡大を図ります。</p> <p>プラットフォームにおいては、府内外における食育の先進的な取組情報やそのノウハウの共有を行うとともに、食育に取り組む仲間や協力者を得るなど、食育に関して有益な情報交換や交流を行うための場として位置付けます。</p> <p>目標：食育プラットフォーム参加者 350名</p>		
取組の実績 評価 B	<p>SNSで食育情報を発信するとともに、食育行事等でプラットフォームへの参加を呼びかけました。</p> <p>実績：食育プラットフォーム参加者271名 （きょうと食育プラットフォーム facebook なす坊友達89名） （きょうと食育メーリングリスト登録者 182名）</p>		

取組事項名	学校教育活動全体を通じた食育の推進
取組の内容	<p>「食」に関する指導計画に基づき、食育に対する教職員の共通認識のもと、組織的・体系的な食育を展開することにより、子どもたちにとって望ましい食習慣づくりを推進します。</p> <p>また、食育に関する教職員等の意識の向上を図り、各関連教科や特別活動等、あらゆる機会を通じた「食」に関する指導を充実します。</p>
取組の実績 評価A	<p>小、中、義務教育学校、高等学校で食に関する指導全体計画を作成し、教職員の共通理解のもと学校全体で取組を進めている。</p> <p>食育月間の取組、毎月19日の食育の日の取組、1月の学校給食週間の取組等について計画的に学校全体で計画的に進めている。</p> <p>【実践例】</p> <p>保護者や地域の協力を得ながら、農園管理や作物の栽培について、生徒会活動の組織に体育農園委員会を設置し、委員会・学年・部活単位で年間を通じて、畑の畝作りから種・苗の植え付け、水やり・草引き、収穫、そして調理に至るまで生徒自らの手で取り組むことで、自然農法の価値を理解、食に対する意識が高まった。</p>

取組事項名	調理実習等の充実
取組の内容	<p>基礎的・基本的な知識と技能を身に付け、日常生活で活用できるようにします。食文化を継承しつつ、健康と安全・衛生に配慮して調理を工夫し、食事を作る楽しさや食べる喜びを味わうことができるようにします。</p>
取組の実績 評価A	<p>各学校で、家庭科、技術・家庭科等の授業において、栄養教諭等との連携やきょうと食いく先生等の地域の専門家の協力を得るなど様々な工夫を凝らしながら、地域の特性を生かした調理実習等の充実を図りました。</p> <p>【実践例】</p> <p>中学校の家庭科授業では、日本の正月の伝統食である雑煮の地域性を感じ、自分たちが住む京都で採れた京野菜を使い、白みそベースのお雑煮をすることで、京都の食文化に触れることをねらいとして取り組みました。昆布と鰹節でだしをとり、京風の特徴である「白みそ」使った雑煮を班ごとに協力して調理しました。京野菜である金時人参を見て、子どもたちは普段見ている人参との、大きさや色合いの違いに驚いていました。</p>



担当または窓口 保健体育課

施策 世代(子ども)

目標 3

取組事項名	地場産物を取り入れた学校給食の促進
取組の内容	学校給食への地場産物の活用とともに、郷土食、行事食などを取り入れることにより、地元産物や食文化への理解を深め、郷土への関心を高めます。
取組の実績 評価 A	「食に関する指導充実事業」「食育月間」「学校給食週間」等の取組により、地場産物を活用した地域の特色を生かした学校給食に取り組み、その内容を研修会での実践発表やホームページ等により他校や地域、家庭へ周知し、普及を図りました。 学校給食への地場産物活用状況調査を行い、状況を把握するとともに地場産物の活用の良さや効果等とともに、その結果を研修会等で伝えました。

担当または窓口 保健体育課

施策 世代(子ども)

目標1・12

取組事項名	地域の人材を活用した体験学習等の実施による生活実践力の育成
取組の内容	食の専門家である「食いく先生」や食生活改善推進員等の外部講師による指導、さらには地域の生産者等による耕作、収穫、調理等の食に関する体験学習等を取り入れながら生活実践力を育成します。
取組の実績 評価 A	各学校では、地域の生産者や関係団体等と連携し、農作物の栽培や調理実習等の体験学習を実施しています。 「食に関する指導充実事業」等において、地域の他校種の学校や関係機関と連携を図り、地域の食の専門家の協力を得た調理実習や地元の食に関する体験学習等を取り入れながら食育を推進しました。 また、きょうと食いく先生を活用し、食の専門家による出前授業を通して調理実習、食品加工体験、農業等に取り組みました。



担当または窓口 教職員人事課

施策 世代(子ども)

目標 1

取組事項名	採用選考試験等の実施
取組の内容	専門性を有する栄養教諭の新規採用枠を引き続き設けます。
取組の実績 評価 A	今年度、栄養教諭4名を採用し、全体で96人(京都市を除く)の配置数となりました。

取組事項名	教職員研修の充実
取組の内容	初任者・新規採用者への研修を実施するとともに、食育推進フォーラム等を開催することによって、学校における食育を推進するための教職員の意識向上及び資質向上を図ります。
取組の実績 評価 A	<p>初任者、新規採用者研修をはじめ、「食に関する指導充実事業」食育推進フォーラム、京都府学校給食研究協議大会、教育局別の食育・学校給食研修会等において教職員の食育推進に対する意識が向上するように食に関する研修を実施しました。</p> 

取組事項名	学校給食を活用した食育の推進
取組の内容	和食の保護・継承や京の食文化への理解を深めるため、地場産物や郷土食、行事食を献立に取り入れたり、教科などに関連させた献立の工夫を図るなど、学校給食を生きた教材として活用した食育の取組を推進します。
取組の実績 評価 A	<p>学校給食実施校では、学校給食を生きた教材として活用し、食に関する指導を実施しています。</p> <p>学校給食を実施している府内全ての小中学校で「和食の日(11月24日(いい日本食))」の取組を行い、学校給食にだしの味のきいた和食献立を提供するとともに、和食の良さや地域の食文化等について学びました。</p>  

担当または窓口	健康対策課	施策	世代（壮年期）、健康増進	目標	6
取組事項名	「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」の増加				
取組の内容	①野菜たっぷりメニュー、②塩分控えめメニュー、③エネルギー表示、④アレルギー表示のいずれかを実施している店舗を「きょうと健康おもてなし食の健康づくり応援店」として認定し、健康に配慮した店舗を増やします。 目標：800店舗の登録（H32年度）				
取組の実績 評価 A	実績：757店舗（H31.3月末現在）の加入				

担当または窓口	健康対策課	施策	健康増進、京都ならではの	目標	13
取組事項名	「健康ばんざい京のおばんざい弁当」の販売数				
取組の内容	「栄養」や「京都らしさ」の一定の基準を満たした「健康ばんざい京のおばんざい弁当」を認定し、普及・販売促進に努めます。 目標：年15,000個の販売				
取組の実績 評価 A	実績：年47,080個（H31.3月現在）（認定した弁当は、62種類）				

担当または窓口	乙訓保健所	施策	世代（若い世代、壮年期）健康増進	目標	
取組事項名	特定給食施設である事業所における食習慣の改善に向けた取組				
取組の内容	特定給食施設である事業所と連携し、主に働き盛り層の男性従業員を対象に、健康課題の改善のため食習慣の改善に重点を置き、給食を介し、生活習慣病予防を図ります。 目標：1回				
取組の実績 評価 A	平成31年2月15日（金）三菱電機（株）京都製作所において、喫食者（450人）に対し、食習慣改善のためのイベントを開催しました。 実績：1回				

担当または窓口	山城北保健所	施策	世代（若い世代、壮年期）、健康増進	目標	
取組事項名	働き盛り世代の生活習慣病予防を目的とした啓発				
取組の内容	管内商工会議所、事業所等と連携し、健診時等において、望ましい食生活に関する情報提供や体験等の機会を設け、働き盛り世代等への食生活改善に向けた啓発を行います。				
取組の実績 評価 A	商工会議所で実施した歯周病予防健診に併せ、働き盛り世代の食生活改善に向けたパネルや媒体の展示等を行いました。（2回） 社員食堂を持つ事業所と連携し、従業員の食及び健康に関する意識向上を図るため、卓上POPの設置による健康・栄養情報の提供による啓発等を行いました。（1事業所に対し継続的に実施）				

担当または窓口 山城北保健所		施策 世代（全世代）、健康増進、家庭	目標
取組事項名	健康づくりイベントでの食育啓発活動		
取組の内容	各種イベント等において、望ましい食生活に関する情報提供や体験等の機会を設け、食育の啓発を行います。		
取組の実績 評価 A	健康づくりイベントにおいて、がん予防、がん検診受診促進コーナーで、野菜摂取向上、適塩等に関するパネルや媒体の展示等を行いました。（2回）		

担当または窓口 山城南保健所		施策 健康増進、家庭	目標
取組事項名	家庭における食育推進をねらいとした啓発		
取組の内容	各種イベント等において、野菜の摂取やバランスのよい食べ方等、正しい食生活の知識に関する情報提供等を行い、食育を啓発します。		
取組の実績 評価 A	救急フェア（平成 30 年 9 月 8 日）の健康相談コーナーにおいて、野菜の摂取をテーマに、野菜料理のフードモデルの展示、パンフレットの配布により、来場者に正しい知識や食べ方のコツ等の説明を行いました（参加者数 89 名）。		

担当または窓口 山城広域振興局農林商工部		施策 京都ならではの	目標
取組事項名	山城マルシェの開催		
取組の内容	山城地域の食の魅力発信と地産地消の推進を目的に山城マルシェを開催します。 目標：5回		
取組の実績 評価 A	実績：JR宇治駅で5回開催(6/29,7/27,11/2,12/7,1/18)		
			
	(準備の様子)		(販売風景)

担当または窓口 山城広域振興局農林商工部		施策 世代（全世代）、健康増進、京都ならではの	目標
取組事項名	「京やましろ食～京やましろ産食材提供店～」登録の拡大		
取組の内容	山城産食材を食べて楽しめる飲食店等を登録し、健康な食生活の実現、山城産の利用推進を目指します。 目標：24店舗		
取組の実績 評価B	平成30年10月1日（月）～平成30年12月21日（金）を募集期間として、登録店を募集しました。 平成31年2月19日（火）に登録審査会を開催し、2店舗を新規登録 実績：2店舗		

担当または窓口 山城教育局		施策 世代（子ども）	目標
取組事項名	山城地方食育・学校給食研究協議会の開催		
取組の内容	山城管内の学校、学校給食共同調理場及び市町（広域連合）教育委員会の教職員・調理員等学校給食関係者が食に関する指導についての理解を深め、学校教育活動全体を通じた食育の推進を図るとともに、学校給食の管理及び運営並びに食に関する指導について研究協議し、学校給食の安全性の確保と健康教育に関する指導のより一層の充実を図ります。		
取組の実績 評価A	同志社女子大学 小切間教授に講演を行っていただき、子ども達が家庭での「調理」という体験から直に学ぶことの大切さや、家庭と連携した食育の取組事例から、継続のための「仕掛け」と「仕組み」について改めて認識するとともに、他校の実践発表を通して情報交換を行いました。 ○平成30年7月24日（火） 京田辺市立中央公民館 ○参加人数 208人		

<p>取組事項名</p>	<p>『『京都丹波』イチ推しの食プロジェクト』2018</p>	
<p>取組の内容</p>	<p>管内の直売所において、京都丹波ならではの料理メニューを開発し、農産物直売所を拠点とした農産物等の売上げの拡大を図るとともに、ホームページ等を活用し「イチ推しの食」に焦点を当てた情報発信を行うことで、京都丹波産食材の摂取量向上等を目指します。</p>	
<p>取組の実績 評価 A</p>	<p>平成30年4月20日～平成30年6月30日に8施設で「新メニューフェア」を開催するとともに、これまで3箇年にわたり開発してきたメニューの中で特に好評を集めたもの等を平成30年10月13日～平成31年1月31日に7施設で提供しました。また、HP「京都丹波たべもり」で京都丹波の食材や料理メニューの魅力を紹介するなど、京都丹波の食材の消費拡大を推進しました。</p>	

<p>取組事項名</p>	<p>おいしい食の応援隊（農作業ボランティア）の開催</p>	
<p>取組の内容</p>	<p>ボランティアが農家と一緒に農作業に汗を流すことで、農山村の活性化や地産地消を推進し、また、農家等地域との交流により、地域の食材に対する正しい知識や食事の大切さの認識を深めることに寄与します。</p>	
<p>取組の実績 評価 A</p>	<p>京都丹波の8地区で農作業応援を45回開催し、延べ493人のボランティアが生産者とともに農作業に参加しました。 また、地域との交流を深め、地域の活性化や地産地消に寄与しました。</p>	

<p>取組事項名</p>	<p>栽培から加工、調理まで行う食育（農業改良普及センター）</p>	
<p>取組の内容</p>	<p>地元小学校が農産加工グループ、食いく先生、当普及センターの協力を得て、小学校児童に大豆栽培から味噌作りや、味噌汁調理までの食育を行います。普及センターは大豆栽培指導の支援や味噌汁の具材用野菜の栽培方法の指導を分担します。 対象：亀岡市 川東学園 小学校児童に黒大豆（枝豆）、壬生菜の栽培及び収穫までの食育を行います。普及センターは栽培方法の指導を支援します。 対象：南丹市 殿田小学校</p>	
<p>取組の実績 評価 A</p>	<p>平成30年12月11日（火）南丹市殿田小学校の生徒13名を対象に、食育活動を実施。食いく先生は、壬生菜について説明した後、は種作業を指導しました。普及センターは、は種・かん水作業の指導及び生徒からの質問に回答し、活動を支援しました。 平成30年6月28日、平成30年11月12日、平成30年12月17日に亀岡市川東学園において、児童23名を対象に大豆の栽培から味噌づくりまでの一連の食育活動を実施。普及センターは栽培指導支援等を行いました。</p>	 <p>食いく先生が生徒と共に壬生菜をは種</p>

<p>取組事項名</p>	<p>大学等を会場とした食育キャンペーンの開催（保健室）</p>	
<p>取組の内容</p>	<p>野菜摂取量の向上を目指した食育キャンペーンを、野菜摂取量が落ち込む若い世代（大学生）を対象に実施します。 目標：年1回 参加者150名</p>	
<p>取組の実績 評価 A</p>	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年11月27日（火）に京都学園大学食堂において、平成30年11月29日（木）に明治国際医療大学食堂において、食育キャンペーンを開催しました。 「野菜を毎食食べてますかチェック」として、1日3食とも野菜を食べることを目指し、自分自身の野菜の食べ方を振り返るきっかけとする参加型のイベントとした。参加者は2校で計472人と多くの参加が得られました。 きょうと健康長寿推進京都丹波地域府民会議食環境部会として開催し、13の部会構成団体の協力のもと実施することができました。 <p>実績：2回 参加者 472名</p>	 

<p>取組事項名</p>	<p>働きざかり世代への企業食堂を通じた健康づくり 「けんこう食堂化プロジェクト」（保健室）</p>
<p>取組の内容</p>	<p>働き盛り層の「肥満者の増加」や「野菜摂取量の不足」など食に関する課題解決に向けて、企業・大学と保健所が協働で健康講座や食堂の環境整備を図ることで、健康的な食行動が実践できる等食を通じた健康づくりを進めるとともに、農林商工部との連携により地元産野菜の販路拡大も進めます。 目標：1 箇所以上</p>
<p>取組の実績 評価 A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 亀岡市商工会議所及び園部労働基準協会主催の健康診断開催時に、健診を受診した働き盛り層に対し、食に関する啓発・展示・相談を3回実施しました。 ・ 社員食堂を持つ事業所等1箇所に対し、働き盛りの健康づくりをめざした「けんこう食堂化事業」を新規で実施しました。これまでの継続フォローとしては2箇所実施しました。 <p>実績：3 箇所</p>

<p>取組事項名</p>	<p>「なんたん・かんたん・やさしい料理」レシピカードを活用した野菜摂取量向上の取り組み（保健室）</p>
<p>取組の内容</p>	<p>京都丹波地域府民会議食環境部会で京都丹波地域府民会議食環境部会で29年度に編集した「野菜レシピカード」を農作物直売所・一般飲食店・食環境部会構成団体を通じて広く配布します。また、クックパッド京都府公式キッチンへ掲載し、広く普及します。 目標：直売所及び飲食店 年2回 配布枚数：計15,000枚</p>
<p>取組の実績 評価 A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 亀岡市、南丹市、京丹波町内で開設されている下記施設のうち希望された59箇所（常設野菜直売所38箇所、加工研究会代表等5箇所、一般飲食店（食情報提供店）16箇所）へ8月、1月の2回配布を行いました。 ・ 食環境部会構成団体が主体的にレシピを活用し、野菜摂取量の向上を図りました。 ・ クックパッド京都府公式キッチンにおける野菜レシピカードの掲載は計17種類、合計4万件を超えるアクセスを得ました。 <p>実績： 回数：直売所等2回、構成団体等48回 配布枚数：31,710枚</p>

<p>取組事項名</p>	<p>きょうと健康長寿推進京都丹波地域府民会議食環境部会の開催（保健室）</p>
<p>取組の内容</p>	<p>南丹地域の食による健康長寿を目指すことを目的に、ボランティア団体、栄養士の団体、保育、教育、農林、市町行政等を構成団体とした食環境部会を開催し、課題検討や情報交換を通じて地域における食育の推進を図ります。</p> <p>目標：年2回</p>
<p>取組の実績 評価 A</p>	<p>構成団体（12団体）の出席を得て、平成30年7月9日に第1回を、平成31年2月18日に第2回を開催しました。取組の共有や課題の検討を通して、保健、保育、教育、ボランティア団体、農林部局と各所属を越えた連携につながることができています。</p> <p>実績：2回</p>

<p>取組事項名</p>	<p>南丹地域配食サービスリストの作成（更新）（保健室）</p>
<p>取組の内容</p>	<p>調理や買い物が困難な方や病気に合わせた食事を作ることが難しい方への在宅での食事の充実をめざし、南丹地域で利用できる配食サービスの資源調査を行い、サービスリストを平成25年3月に初版を作成し、必要な人に届くよう主な施設に配布及び保健所ホームページへ掲載しています。高齢者の食の課題に寄り添った情報も掲載し、リストを更新します。</p> <p>目標：年1回</p>
<p>取組の実績 評価 A</p>	<p>更新したリストを作成しました。 企業系既存21箇所は15箇所に減少したものの、新規5箇所を加え20箇所のリストとなりました。また、国ガイドラインも併せて周知することが出来ました。 今後は必要な人へ届くよう、関係施設へ配布を行います。</p> <p>実績：1回</p>



担当または窓口 中丹教育局		施策 世代(子ども)	目標
取組事項名	中丹地区食育・学校給食研究大会の開催		
取組の内容	中丹地区の学校給食の充実や安全な学校給食の実施に向けて、栄養教諭や学校給食の調理従事者等の研修を実施します。 目標：1回		
取組の実績 評価A	<p>平成30年8月3日(金)に夜久野ふれあいプラザにおいて、学校給食の調理従事者や栄養教諭等学校関係者75名が参加し、実施しました。</p> <p>講演講師として、福岡女子大学 国際文理学部 食・健康学科の村上祥子客員教授に『「ちゃんと食べてちゃんと生きる」～食事づくりの最強の相棒・野菜を生かす知恵を伝えて～』と題して、野菜の持つファイトケミカルについて理解を深め、食べることは生きることであり、子どもたちに「食べカ」を身に付けさせることの重要性について御講演いただきました。</p> <p>参加者は、村上先生の講演内で紹介された実践例やポイントについて、家庭や給食でどのように伝え、身に付けさせたら良いかを考える機会となりました。</p> <p>実績：1回</p>		

担当または窓口 丹後広域振興局農林商工部		施策 世代(子ども)	目標 1
取組事項名	小学校の食育活動に対する支援		
取組の内容	小学校が取り組む水稲等の農作業体験活動を支援します。 目標：年5回		
取組の実績 評価B	<p>平成30年6月15日 大豆の話と種まき作業について 場所：宮津小学校 対象：4年生 73人 内容：・大豆の特徴と育ち方の講義 ・種まき作業の実習</p> <p>平成30年度12月10日 丹後の農業、お米の食べ比べ 場所：京丹後市 橘小学校 対象：5年生 13人 内容：丹後の農業について講義 丹後米と市販米の食べ比べ</p> <p>実績：2回</p>		

担当または窓口 丹後広域振興局農林商工部		施策 世代（子ども、若い世代、家庭）	目標 12
取組事項名	きょうと食いく先生会議の開催について		
取組の内容	きょうと食育先生事業の充実に向け、管内の食いく先生と意見交換等を行います。		
取組の実績 評価 A	<p>日時：平成30年12月10日（月） 対象：管内きょうと食いく先生を対象 出席人数：10名／23名中 会議内容： きょうと食いく先生事業における丹後管内の現状と課題について報告し、今後の事業の進め方について協議を行いました。 報告内容： きょうと食いく先生についての情報発信の強化や、学校以外での活躍の場の確保など、更なる活用の確保に向け、当局と食いく先生が連携して食育に取り組んでいくことを確認しました。</p>		

担当または窓口 丹後保健所		施策 世代（子ども、若い世代）	目標
取組事項名	食育フォーラムの開催		
取組の内容	<p>農林、教育をはじめ様々な食育に関する機関と連携しながら、丹後地域の食育活動を共有し、ネットワークづくりを進めることを目的とし講演会等を開催します。 目標：年1回</p>		
取組の実績 評価 A	<p>平成31年3月15日（金）に他部局と連携し、食育フォーラム（食育に関する講演及び展示）を開催したところ、94名の参加がありました。 講演では熱心にメモをとる参加者がいたり、「今日の話を持ち帰って地域で話をしたい」といった感想が寄せられるなど、丹後地域の食育推進につながりました。 実績：1回</p>		

担当または窓口 丹後保健所		施策 世代（全世代）、健康増進	目標 A
取組事項名	イベントでの食育体験コーナー等の設置		
取組の内容	<p>おとなの体カテスト大会や丹後農業研究所施設公開デーをはじめ、多数の府民が集まる会場にて、「働き盛り世代の健康づくり」や「高齢者の低栄養予防」等の推進を目的に、栄養士が食についての相談や体験コーナーを設置します。 目標：年3回</p>		
取組の実績 評価 A	<p>平成30年6月18日（月）労働安全衛生大会〔参加者：121名〕、平成30年7月19日（木）きょうと健康長寿推進丹後地域府民会議総会〔参加者：31名〕、平成30年11月3日（土）丹後職場対抗おとなの体カテスト大会〔参加者：35名〕にて、主に働き盛り世代を対象に、自身の食生活を見直してもらう機会を設けました。 興味を持ってもらうために、媒体の展示をするだけでなく、カロリーが測定できるしゃもじを用いて「自分の適正なごはんの量」を知ってもらうなどの体験ブースを設けるなどの工夫も行いました。 なお、「高齢者の低栄養予防」を目的とした啓発は、丹後農業研究所施設公開デーが台風で中止となったため、また来年度以降に実施予定としています。 実績：年3回</p>		

担当または窓口 丹後保健所		施策 健康増進	目標
取組事項名	食育月間の取組		
取組の内容	食育月間である6月に、府民ホールにて食に関する展示を実施し、正しい情報を提供します。		
取組の実績 評価 A	食育月間である6月に府民ホールにて、歯科の展示と併せて嗜好品に含まれる砂糖の量を示す媒体等を目に見える形で展示し、来局された府民や職員に対し、正しい食習慣について、情報発信を行いました。		

担当または窓口 農村振興課		施策 世代（子ども）	目標
取組事項名	子どもを対象とした農業体験の開催		
取組の内容	<p>将来を担う子どもたちの農業に対する関心を深めるために、子どもたちを対象とした植え付け体験や収穫体験等のイベントを、地域団体が主体となって開催します。</p> <p>目標：農業体験イベント 10地区</p>		
取組の実績 評価 A	<p>地域のお米の学習や農産物加工、またそれを支える農業用施設等を幅広く学習し、地域の「食」について深く考える機会となりました。</p> <p>実績：14地区</p>		

担当または窓口 農村振興課		施策 世代（若い世代）	目標
取組事項名	高校生・大学生による農業関連実践活動		
取組の内容	<p>人手が不足している農山漁村が、専門分野の知識・技術を一層深めることを目的とした農業関係等専門科を有する高校・大学等と連携し、農業用施設の保全管理、地域農業の学習、新たな特産品の開発など「食」に係る実践活動に取り組みます。</p> <p>目標：参加学校数 5校</p>		
取組の実績 評価 A	<p>実績：教育実践パートナーシップ活動や参加型住民づくり事業で府内9校で取組実施</p> <p>農業や郷土食、農業用施設の学習や農作業体験等、地域の食や農業をキーワードに、地域の方とともに取組を実施し、学生の知識を深めました。</p>		

<p>取組事項名</p>	<p>農業体験活動の推進</p>
<p>取組の内容</p>	<p>丹後王国「食のみやこ」内の農園等において、果樹や野菜（ブルーベリー、サツマイモ等）の収穫や苗植え付け体験といった自然体験など、「農業体験」活動等を推進します。 目標：425名</p>
<p>取組の実績 評価A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルーベリー収穫体験（556人） ・サツマイモ収穫体験（185人） ・レタス・九条ネギ苗植え付け体験（83人） ・キノコ（シイタケ・ナメコ）菌打ち体験（20人） <p>実績：844人</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">  </div>

<p>取組事項名</p>	<p>食を楽しみながら学ぶ機会の提供</p>
<p>取組の内容</p>	<p>丹後王国「食のみやこ」内の加工施設等において、成形パン、アイスクリーム、クッキー等の「食」を楽しみながら学ぶ「手作り体験教室」や地元食材を使った「郷土料理体験実習」やインバウンド向け「料理体験教室」を開催します。 目標：3,420人</p>
<p>取組の実績 評価 A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・手作り体験教室（成形パン、アイスクリーム、クッキー、ジャム、スイーツ作り）（2,716人） ・西利 漬物教室（44人） ・ばら寿司調理体験（35人） ・食人材学舎（商品開発、メニュー開発に向けた研修）（92人） ・おせち作り教室（4人） ・高校生レストラン（30人） ・農泊人材学舎（メニュー開発・考案、盛付けなどの演出方法の研究）（29人） <p>実績 2,950人</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">  </div> <div style="display: flex; justify-content: center; margin-top: 20px;">  </div>

担当または窓口 農林水産技術センター企画室（流通・ブランド戦略課）		施策 健康増進、京都ならではの	目標
取組事項名	京都発！「食とみどりのサイエンスNOW」の開催		
取組の内容	<p>府内産農林水産物に関する研究成果や最新情報を提供することで、府内産の特色ある食材を府民の皆様を知ってもらい、身近に親しんでいただく機会を提供します。</p> <p>目標：1回</p>		
取組の実績評価A	<p>平成30年12月1日（土）に京都市梅小路公園緑の館において開催し、約30名の方に来場いただきました。来場者は講師が話した内容を熱心に聞き、活発な質疑が交わされました。水出してん茶の試飲、エビイモとサトイモの食べ比べも好評で、府内食材に対する関心の高さが伺えました。</p> <p>実績：1回</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		

担当または窓口 農林水産技術センター企画室（流通・ブランド戦略課）		施策 世代（全世代）、京都ならではの	目標
取組事項名	農林水産技術センター施設公開の開催		
取組の内容	<p>府内各地にある農林水産試験研究機関において、京野菜や京都米、丹後とり貝など、京都府の特色ある農林水産物のつくり方やおいしさの“ふしぎ”に触れながら、その魅力を体感できる施設公開を、夏休み期間を中心に開催します。</p> <p>目標：6回</p>		
取組の実績評価A	<p>平成30年7月～平成30年8月（茶業研究所のみ平成30年5月）にかけて府内の研究センターで開催し、延べ約1600人の方に来場いただきました。各研究センター研究内容の紹介や農作物の収穫体験、施設探検ツアー等を実施し、来場者の方に研究所の取組を知っていただくとともに、府内農林水産物の魅力を体験していただきました。</p> <p>実績：5回（丹後農業研究所の施設公開が台風の影響で中止のため1減）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>		

担当または窓口 農産課		施策 世代（子ども）、家庭、京都ならではの	目標
取組事項名	女性農業者による食育活動と農山漁村伝承技能保持者による技術伝承活動		
取組の内容	<p>京都府内の生活研究グループが取り組む郷土料理講習や農業体験などの食育活動を支援します。また、農山漁村伝承技能保持者が行う、農山漁村に伝わる技能伝承活動を支援します。</p> <p>目標：6回</p>		
取組の実績 評価 A	<p>京都乙訓、宇城久、綴喜、中丹で活動する生活研究グループ地域連絡協議会が、各地の小学生、地域住民や親子を対象に、地域特産物の栽培体験や郷土料理講習会などの食育活動を定期的で開催し、地元特産物の美味しさや郷土の魅力に気付いてもらい、料理への興味も持ってもらうきっかけづくりに努めました。</p> <p>また、各地域に保持されている技能の登録者及び匠認定者の講師活動や伝承活動の場作りを行い、啓発・PRに努めました。</p> <p>実績：18回</p>		

担当または窓口 農産課		施策 高齢者 京都ならではの	目標
取組事項名	農山漁村伝承技能の登録・認定		
取組の内容	<p>農山漁村地域において長年にわたり培われ、行われてきた伝統的又は優れた生産・生活に係る技能を保持し、農林水産業や地域振興に意欲を持って技能の伝承活動ができる65歳以上の府内在住者を登録しています。その中で、極めて優れた技能の保持者については、京都府の「農の匠」、「山の匠」、「海の匠」として認定し、京都府ホームページで紹介します。</p> <p>目標：1回</p>		
取組の実績 評価 A	<p>総勢 728 名の技能登録者の中から、京の特産物である「すぐき漬け」や伝統野菜である「九条ねぎ」や「えびいも」の安定生産、伝統的な宇治茶生産に用いる「こも」の生産、肉用牛の肥育や採卵鶏の飼育に関する技能保持者計 7 名を「農の匠」として、また、北山杉の管理・生産に関する技能保持者 1 名を「山の匠」として認定（11/24）し、京都府ホームページで紹介しました。</p> <p>さらに、技能登録・匠認定者を紹介する冊子「農林漁業の技とところ」を作成し、平成 29 年度技能登録者及び平成 28・29・30 年度匠認定者を新たに掲載し、国や市町村、関係機関等に広く配布しました。</p> <p>実績：1回</p>		

担当または窓口	農産課	施策	ライフスタイル	目標
取組事項名	京都米提供店の登録、紹介			
取組の内容	京都府米食推進協会が、京都米を使用しているホテル、料理店を京都米提供店として登録して米サイト「KYOTO米」に掲載し、広く府民に京都米を買ったり味わったりできる店舗をお知らせします。			
取組の実績 評価A	京都米提供店の登録、紹介 153店舗（㊟新規1店舗登録） 			

担当または窓口	農産課	施策	世代（子ども）	目標
取組事項名	茶育の推進			
取組の内容	小学生を対象とした「キッズ茶ムリエ」の開催（山城広域振興局）や小学校での「宇治茶ふれあい教室」（茶協同組合）による茶育を行います。			
取組の実績 評価A	小学生を対象とした「キッズ茶ムリエ」検定は5回開催し、約206名の参加がありました。 「宇治茶ふれあい教室」は28回開催し、1,600人以上の子どもにお茶の淹れ方や茶園の観察などを通じた茶育を行いました。 			

担当または窓口	農産課	施策	ライフスタイル	目標
取組事項名	環境にやさしい農業に取り組むエコファーマーと消費者の交流会の開催			
取組の内容	<p>こだわりマルシェ他で、環境にやさしい農業への理解を深めるため、エコファーマーと消費者との交流会を開催します。</p> <p>目標：5回以上</p>			
取組の実績 評価A	<p>京都府庁こだわりマルシェ 29、同 30、同 31、京都府農林水産フェスティバルにおける農産物の販売を通じて、エコファーマーが消費者と交流することで、環境にやさしい農業への理解増進に努めました。</p> <p>実績：5回</p>			
				

担当または窓口	水産課	施策	世代（子ども）	目標
取組事項名	水産教室の開催			
取組の内容	<p>子どもたちの水産物に対する興味を喚起し、理解を深めるため、京都府職員が海や魚、漁業などに関する講義を行います。</p>			
取組の実績 評価A	<p>京都府内の小学生を対象に京都の漁業の概要と資源管理の取組について講義</p> <p>平成 30 年 7 月 31 日（火）立命館小学校 5、6 年生 20 名、教員ほか 12 名</p> <p>平成 30 年 12 月 17 日（月）大宮小学校 5 年生 120 名、教員ほか 6 名</p>			

担当または窓口	水産課	施策	世代（全世代）	目標
取組事項名	都市漁村交流の促進			
取組の内容	<p>丹後の水産物に対する都市住民の理解を促進するため、丹後水産物のPRや漁業・漁村体験等の都市漁村交流事業を行う団体を支援します。</p>			
取組の実績 評価A	<p>都市漁村交流事業を行う漁業会社等に対し、集客を見込めるPR方法の助言等を行いました。</p> <p>蒲入水産旬による「漁港めし」</p> <p>平成 30 年 4 月 21 日～9 月 30 日（うち 60 日実施）、利用者 5,434 人</p> <p>※京阪神方面からの利用者あり。</p>			

担当または窓口 商業・経営支援課		施策 世代（高齢者）	目標
取組事項名	高齢者等への買い物支援		
取組の内容	高齢者が身近に買い物できる商店街団体等の維持継続、発展のため、商店街団体等が地域コミュニティの核となるような特色づくりに取り組む事業、賑わいづくり及び安心・安全確保のために実施する施設整備など、商店街の振興につながる事業を支援します。		
取組の実績 評価A	商店街団体等の維持継続、発展のため、「妖怪や桜をテーマにした特色ある商店街づくりやイベント等の賑わいづくり、商店街への誘客や地域の活性化を図るプレミアム付き商品券の発行及び安心・安全の確保のためのアーケードの改修や防犯カメラの設置等」を支援しました。		

担当または窓口 ものづくり振興課		施策 健康増進	目標 5
取組事項名	食品表示法・HACCP 研修会の開催（実施団体：食品産業協会）		
取組の内容	食品製造業者向けに食品表示法及び HACCP に関する研修会を行い、適正な情報を記載している食品の流通を目指します。また、HACCP 導入を推進し、食品製造・加工における衛生管理の向上を図り、消費者の健康増進へ繋がります。 目標：1回		
取組の実績 評価A	<p>食品表示法等対応セミナー 第1回</p> <p>日時 平成30年7月31日（火）14:00～16:00 場所 京都府中小企業会館 709会議室 参加者 68名</p> <p>第1部「食品表示法について」 内容 食品表示基準の概要及び栄養成分表示について 講師 消費者庁 食品表示企画課 課長補佐 西尾素子氏</p> <p>第2部「京ブランド食品の食品表示法等への対応について」 内容 京ブランド食品の新詳細仕様書について 講師 京都府生活協同組合連合会 生協活動推進専門委員 佐々木裕司氏</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>第2回</p> <p>日時 平成30年8月10日（金）14:00～16:00 場所 京都府中小企業会館 709会議室 参加者 41名</p> <p>第1部「食品表示法について」 内容 食品表示基準の概要及び栄養成分表示について 講師 消費者庁 食品表示企画課 課長補佐 西尾素子氏</p>		

第2部「京ブランド食品の食品表示法等への対応について」
 内容 京ブランド食品の新詳細仕様書について
 講師 NPO 法人 京都消費者契約ネットワーク 監事 坂本茂氏



新春研修会

日時 平成31年2月18日(月) 16:35~17:35
 場所 ANAクラウンプラザホテル京都
 内容 食を取り巻く現状と課題について ~食品衛生法への対応~
 講師 一般財団法人食品産業センター 専務理事 田辺 義貴氏
 参加者 66名



実績：3回

担当または窓口	ものづくり振興課	施策 家庭	目標
取組事項名	農林水産フェスティバルへの出展（実施団体：食品産業協会）		
取組の内容	<p>農林漁業者・関係団体の参加を促し、農林水産物や加工品等の展示、試食、販売を通し、消費者との交流を図ることで、食への意識向上を図ります。</p> <p>目標：1回（毎年実施）</p>		
取組の実績 評価A	<p>日時 平成30年11月24日(土) 25日(日) 場所 京都府パルスプラザ 内容 出展を通じて、京ブランド食品「京都吟味百撰」のPRを実施 来場者数 約46,000人</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>実績：1回</p>		

担当または窓口 海と星の見える丘公園		施策 世代（子ども、若い世代、壮年期）、健康増進、家庭、ライフスタイル、京都ならではの	目標
取組事項名	郷土料理作り		
取組の内容	<p>体験プログラムの一つとして実施。地域の方を講師として招き、丹後ならではの調理法や魚さばきの仕方などを教えます。調理中の関わりの中で普段の生活スタイルを見直すきっかけづくりを行います。</p> <p>目標：小学校での利用などで年3回程度</p>		
取組の実績 評価A	<p>小学校の利用だけでなく、幼稚園の職員研修として大人向けにも実施しました。魚の捌き方や海藻料理の調理方法を教えつつ、どこで、どのようにして収穫したのかなども伝え、地産地消の意義と味を知ってもらうことができました。</p> <p>実績：6回 150名</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		

担当または窓口 海と星の見える丘公園		施策 世代（子ども、若い世代、壮年期）、家庭、ライフスタイル、京都ならではの	目標
取組事項名	おくどさん体験及び夕食づくり		
取組の内容	<p>小学校利用や親子での利用。「おくどさん」でご飯を炊き、公園内でとれた木を薪にして燃料として使います。</p>		
取組の実績 評価A	<p>山へ柴刈りに行き、小枝や落ち葉を集め、昔ながらの森の活用法を伝えました。水の量や火の加減、炊き上がりのタイミングなどを伝え、参加者自身でご飯を炊きました。</p> <p>実績：15回 334名</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		

担当または窓口 海と星の見える丘公園

施策 世代（子ども、若い世代、壮年期）、
家庭、京都ならではの

目標

取組事項名	石窯パン・ピザ作り
取組の内容	親子で石窯によるパン・ピザ焼きを体験。京都府産小麦を使い、フードマイレージの話などもします。
取組の実績 評価 A	地区行事や親子行事など、子どもから年配の方までの幅広い世代で体験されました。 実績：10回 193名  

担当または窓口 海と星の見える丘公園

施策 世代（子ども、若い世代、壮年期）、
家庭、京都ならではの

目標

取組事項名	巨大パエリア作り
取組の内容	アースデイ丹後のイベントの一つ。巨大な鍋でパエリアを作る。燃料は公園内でとれた薪を使用。材料は近くの海で獲れた魚介類を使います。
取組の実績 評価 A	燃料は園内の間伐材を使い、食材は丹後のお米と食材を使用しました。来場者が多く集まるイベントにおいて、地産地消や丹後の食材の美味しさを伝える機会となりました。 実績：1回  